

令和4年度

# 小・中学生フォーラム in 戸塚第二小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月1日（金）、戸塚第二小学校（高田馬場1-25-21、校長：片山直子）の6年1組24名、2組24名が、「高田馬場活性化プロジェクト～よりよい街を目指して～」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、高田馬場の良さや課題について、アンケートやインタビューなどを通して考えたことを発表しました。そこから、街をよりよくしていくために、「商店街を盛り上げる」「ごみを減らす」の2点について、自分たちができること、地域の人と協力していくこと、区にお願いしたいことを提案しました。

提案のあとは、区長との意見交換を行いました。児童たちからは、「ごみが多いのはなぜか」「提案の中で挙げたポスター貼りにどうしたら協力してもらえるか」などの発表に関するものだけでなく、「区長が思う高田馬場のイメージは何か」「ほかの区と協力してやっていることはあるか」など、幅広い質問が挙がり、区長もそれぞれの質問にしっかりと答えていました。区長からは「自分たちで調べたことを自分たちの言葉で伝えていたので、とてもよく伝わった。自分の言葉で話すことで、誰にでも上手にものを伝えることができると思う。」と話がありました。

普段からごみ拾いなどの活動を行っている児童たちは、地域の課題について身近に感じているようでした。地域への愛着を再確認する良い機会となりました。

